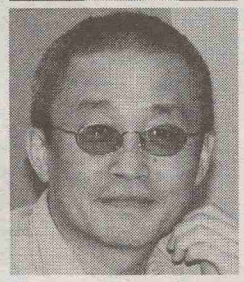
私は死んでも追及を止めない！

「官房機密費もらった記者いないか」

大新聞・テレビの回答書を公開する

――久米宏、池上彰、勝谷誠彦ら「非記者クラブ」のジャーナリストが続々援軍に



「日本のメディアはこの件について、日光の賢い三猿のような反応を示している」――英経済誌『エコノミスト』は官房機密費マスコミ汚染問題について沈黙する日本のメディアをこう皮肉った。彼らはいつまで頬かむりし続けるのか。

上杉隆（ジャーナリスト）と本誌取材班

不可思議なことが起こった。先週号でテレビ朝日系『ビートたけしのTVタックル』が官房機密費特集を中止したとお伝えしたが、急きょ企画を復活させたのだ。

5月31日放送の同番組は「嵐の参院選突入スペシャル」だったが、普天間問題などと並んで「官房機密費」がトピックに上がった。当初出演を打診され、番組側の都合でキャンセルになった私はその露骨さに心底驚いた。そんなに「上杉隆」がまずいのか。

それでも、番組ではコラムニストの勝谷誠彦氏が孤軍奮闘してくれた。

「メディアがカネでコント